

令和3年度 第2回伊勢崎市多文化共生キーパーソン会議

会議録概要

開催日時 令和3年10月7日(木) 午後6時30分～午後7時00分

開催場所 伊勢崎市役所東館5階第1会議室

参加者

- ・キーパーソン 【2名】：竹原 ドラさん(ペルー)、田村 真里留さん(フィリピン)
- ・事務局(国際課) 【4名】：国際課長、国際化係長、事務局職員2名

1 開会・あいさつ

2 意見交換

【多文化共生キーパーソンが考える「多文化共生」とは】

【多文化共生キーパーソンとしてこれから活躍していきたいこと】

・「多文化共生」がいろいろな所で取り上げられているが、それぞれの文化やアイデンティティを大切にしていくことが「多文化共生」だと思う。日本人も外国人も同じ日本で一緒に生活をしているので、お互いの文化を理解し合うことが重要である。

・長く日本で生活している外国人でも、同じ国のグループに集まってしまう傾向にあるため、日本人の中に入っていくことが大切だと思う。逆に日本人も、外国人の中に入っていくことも大切である。

・今までは日本語を学ぶ側であったが、これからは母国の言語を日本人に教えていきたいと思っている。日本人がちょっとした挨拶にでも外国語を使ってくれれば、心の距離が縮まる。お互いの国の言葉での挨拶が、交流するきっかけになると思う。

・外国人が日本人の地域コミュニティに入ったときに、意思疎通の難しさを感じる。日本人も外国人コミュニティに入ると同じ感覚を持つと思うので、お互いに意思疎通が図れるための交流機会があればよいと思う。その際、ちょっとした挨拶だけでも覚えられるようなものがあればよい。

・「多文化共生」で大切なことは、外国人も日本人もお互いを尊重することだと思う。昔のようにブラジルやペルーだけではなく、今は色々な国の人が生活するようになり、それぞれ文化や生活習慣が違うため、国籍に関係なくお互いを尊重することが大切である。

・今はコロナ禍で難しいとは思いますが、伊勢崎市には日本人が外国の文化を体験できるイベントが少ないと思う。東京都や神奈川県などではいろんな国のフェスタが各地で開催され

て、食文化やダンスなどを体験でき、日本人も多く参加している。コロナが終息して、伊勢崎でフェスタが開催されれば参加したい。

3. 事務連絡

4. 閉 会